

事業の背景・目的

令和4年1月、栃木県真岡市において栃木県では初めて野外でクリハラリスが確認された。生息状況については未調査だが、周辺住民による目撃情報の内容や、農作物被害等の報告が無いことを総合すると、現時点での個体群の規模は小さい可能性がある。

近隣には、緑地環境保全地域にも指定している豊かな樹林地のほか、農地や住宅地が広がっている。今後防除を行わなければ、食害や競合により当該地の生物多様性が損なわれるほか、農作物被害、家屋侵入等の生活被害など、多岐にわたる影響が懸念される。

本事業は、個体群が小さいと考えられる今のうちに徹底した対策を行うため、基礎情報となる生息状況の把握を目的に実施するものである。

事業の内容

・クリハラリスの生息範囲等を把握し計画的な防除対策に資することを目的とし、センサーカメラによる生息範囲の調査及び捕獲による生息状況調査を実施した。

ア クリハラリス生息範囲把握等調査

クリハラリスの既確認地点の周辺24か所において、以下の2つの手法により生息状況調査を行い、生息範囲等を把握した。

(1)ベイト法

疑似餌等を設置した樹木に向け自動撮影カメラを設置し、撮影された写真を解析した。夏期は28日間、冬期は14日間設置した。

(2)コールバック法

ベイト法にあわせ、1箇所につき1回、15分程度クリハラリスの警戒声を流し、寄ってくる個体の有無等を目視で観察した。

イ クリハラリス捕獲調査

令和4年1月の緊急捕獲時に生息が確認された箇所において、箱ワナを計10基設置し、生息密度の推定等を行った。

馴化のために1週間設置し、その後5日間ワナを稼働させた。

ウ 対策検討

ア、イの結果に基づき、今後の対策を検討した。

得られた成果

・生息範囲把握等調査及び捕獲調査の結果、いずれも個体は確認されなかった。生息密度が低いのではないかと推測ができたものの、得られた情報が少ないため、防除実施計画作成までは至らなかった。次年度は、特定外来生物防除等対策事業の（2）特定外来生物早期防除計画策定事業の交付金を活用し、更なる生息状況調査を実施することで防除実施計画策定や根絶に向けた対策を実施したい。

・本事業は地域住民の協力を得ながら、真岡市と協働で実施している。自治会回覧にてクリハラリスに関する目撃情報収集や普及啓発を行ったことにより、地域住民から真岡市への報告体制が構築され、新たに野外でクリハラリスが確認された場合、早急に対応できる状況となった。今後も、専門家の知見も活用しながら、引き続き地域と連携して対策を進める予定である。